

演劇的手法を活用したワークショップ

仙石桂子

(四国学院大学)

私の勤務する大学では、初年次教育において 3 名の教員（演出家、ダンサー、インプロヴァイザー（仙石））がすべての 1 年生にワークショップを行う。私は 2012 年度は 1 回ずつ行い、2013 年度、2014 年度は 2 回ずつワークショップを行った。

また、3 年生のキャリア教育の必修科目において 3 名の教員が希望者にワークショップを行う。私は前期はコミュニケーションワークショップの最後にグループプレゼンテーションを行った。グループプレゼンテーションは必ず演劇的手法を使うこと、そして全員が必ず出演することをきまりとした。後期は善通寺市のことを 3 名の善通寺市民に話を聞き、台本にし、上演した。今回は以上の 2 つの科目に関する実践報告を行う。ワークショップは毎回インプロ、演劇、コミュニケーションゲームを使い、常に机を移動し行った。最後の台本の演劇の発表では、演劇コースの学生に照明などのスタッフワークをお願いし、最終的に 1 時間程度の作品を上演した。その際、モチベーションの差、忙しさなどの都合をつけながらみんなで話し合いやすり合わせを行いながら上演を行った。学生のコメントシート（毎回記入している。）を使い、学生の変化などを見ていきたい。